子ども理解支援ツール「ほっと2014」 - 実施の手引 -



◆◆◆「ほっと2014」は、次のような機能を追加し、充実を図りました◆◆◆



北海道教育委員会・北海道医療大学 (平成 26 年 6 月)

◇◇◇ 本書の構成 ◇◇◇ 第1章 「ほっと」とは • 1 |1| 「ほっと」の目的と趣旨 「ほっと2014」で測定できるスキル 2 「ほっと2014」実施の大まか流れ 3 4 「ほっと 2014」における主な変更点(旧バージョンとの比較) 第2章 「ほっと2014」の実施手順 5 1 「ほっと 2014」の起動 2 「振り返りシート」の印刷及び実施 3 児童生徒が回答した「振り返りシート」の結果の入力 集計結果の表示 4 |5| 複数回実施した場合の集計結果の比較の表示 6 その他の機能

「ほっと」の名称について -◇ 子ども同士が、ほっとできる人間関係を築くことができるよう支援 するツール ◇ 子ども同士が<u>HOT</u>な人間関係を築くことができるよう支援する ツール ◇ 教職員がほっと一息入れて、学級や学年の子どもたちを見つめ直す ことができるツール ◇ Hot Opportunity for Ties (絆をつなぐための新しい機会と) なるツール)

◆「ほっと 2014」の開発に際しては、北海道医療大学の富家直明教授及び研究室に多大 な御協力をいただきました。特に、日本学術振興会特別研究員の新川広樹氏、健名宏 樹氏には、システム変更等に御協力いただきました。

第1章 「ほっと」とは

|1| 「ほっと」の目的と趣旨

児童生徒のいじめや不登校等の問題行動等への対応については、未然防止の取組を充実させることが重要であり、とりわけ、児童生徒が、自分の思いや考えを適切に表現したり、思いやりの心をもって他者とかかわったりするなど、よりよい人間関係を築く力を高めていくことが 大切です。

そのため、北海道教育委員会では、平成24年6月に、コミュニケーションスキルや日常生活等への満足度、精神的な安定度など、児童生徒をより深く理解するために必要な情報を計画的、総合的に測定することができるツールを、北海道医療大学と共同して開発しました。

2 「ほっと2014」で測定できるスキル

「ほっと」は、児童生徒や学級等のコミュニケーションスキルを測定することができるツー ルです。先行研究からコミュニケーションスキルは13要素に分類することができますが、「ほ っと」はその13要素すべてを測定することができます。(「ほっと 2014」では、13要素の表記 を略称で示しています)

	13 要素	略称	要素の説明
1	挨拶や感謝	礼儀	挨拶や「してもらったこと」への感謝ができるか。
2	発言や説明	表明	意見や欲求を主張できるか。
3	仲間づくり	参加	対人参加や、仲間と協調することができるか。
4	思いやり	配慮	相手への配慮や親切、援助ができるか。
5	拒否	拒否	断ることや、他者から無理な働きかけに「やめて」と言うことができるか。
6	緊張	緊張	緊張や不安によって話せなくなることがあるか。
7	称賛	称賛	相手をほめたり喜ばせたりすることができるか。
8	ルールやモラル	遵守	規則や秩序を維持したり、不適切な行為を謝罪できるか。
9	助言や注意	忠告	社会的な望ましさを促進する働きかけができるか。
10	自律	自律	協調性や我慢などの自律的な行動ができるか。
11	リータ゛ーシッフ゜	率先	集団をまとめることなど、リーダーシップ行動ができるか。
12	学業	学業	学習に関連した望ましい行動ができるか。
13	相談	相談	相談や自己開示ができるか。

また、13要素で相関の高い要素同士を因子としてまとめることで、児童生徒や学級等の全体 的な特徴をより効果的に把握することができます。

学校種	因子	因子の説明
小骨坊	主張性因子	自発的に相手とかかわり、自分の考えを主張する力
小子校	協調性因子	他者を気遣ったり、集団生活に適応する力
	関係維持因子	他者と良好な関係を保ち、励まし合う力
中学校	仲間強化因子	仲間と高め合ったり、影響力のある発言をする力
	自己統制因子	衝動性を抑え、良識に基づく意思決定を行う力
	関係維持因子	他者と良好な関係を保ち、励まし合う力
古生学坛	仲間強化因子	仲間と高め合ったり、影響力のある発言をする力
同守子仪	自己統制因子	衝動性を抑え、良識に基づく意思決定を行う力
	援助要請因子	身近な人に相談したり、悩みを打ち明ける力

3 「ほっと2014」実施の大まか流れ

「ほっと」を実施するに当たっては、大きく4つの段階に分けることができます。

(1) 児童生徒への「振り返りシート」の配付及び回答の実施



(2) 児童生徒が回答した「振り返りシート」の結果の入力(Excel シート)

																男性	19	クラス	情報	1	年	1	組	-		
			산는 모네	+ == (77.44	1+13	2 to 1	71+	2 3 1 V						XII	21	天肥				人飲	40	-		
	生油情姻		皆問	<u>す、 プロ</u> 佰日		2(12	[19: 1.G	./(/)(J C Ch	COVI									TALLE	3	:	THE		1		
T.		性別	of	n2	63	cn4	d5	66	o7	68	n9i	d1.0	of 1	c1 2	of 3	c1 4	o1.5	d16	d1 7	d18	619	<i>c</i> 20	c/21	622	c23	c24
H ⁺	1	0	4	3	2	3	7 2	2	- 3 -	2	2	2	3	4	1	2	1	2	2	2	1	4	2	3	3	3
I٢	2	ŏ	2	2	3	2	2	3	2	4	1	3	4	2	2	2	1	4	2	3	3	3	3	3	2	3
	3	ŏ	2		2	2	3	2	2	3	2	1	4	2	1	2	2	2	1	4	2	3	3	3	3	3
	4	ŏ	1	2	1	2	2	2	1	4	2	2	2	3		3	2	3	4	2	1	2	3	4	2	3
	5	ŏ	2		3	3	3	3	2	3	4	3	4	2	3	4	2	3	2	1	2	4	2	1	2	2
	6	Ň	1	2	1	2	3	3	3	2	3	1	3	3	2	3	3	2	3	2	3	2	2	2	2	2
	7	1	4	4	4	4	4	4	4	4	4	1	2	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2
	8	1	1	2	3	2	3	2	2	2	2	3	3	2	2	3	3	3	3	1	2	4	4	4	4	4
	9	1	4	4	1	1	1	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	10	1	4	4	1	1	1	1	1	1	1	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	11	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4
	12	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	13	0	4	4	4	4	4	4	4	4	4	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3
	14	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3
	15	0	1	2	2	2	2	4	4	4	4	1	1	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2
	16	0	1	2	1	2	3	3	3	2	3	1	3	3	2	3	3	2	3	2	3	2	2	2	2	2
	17	1	4	4	4	4	4	4	4	4	4	1	2	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2
	18	1	1	2	3	2	3	2	2	2	2	3	3	2	2	3	3	3	3	1	2	4	4	4	4	4
	19	1	4	4	1	1	1	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	20	1	4	4	1	1	1	1	1	1	1	4	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	21	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4
	00				-					-	-	-	-	_				-								

(3) 集計結果の表示 (グラフ)



(4) 集計結果の分析及び今後の生徒指導の改善充実に向けた具体的な方策の検討

4 「ほっと 2014」における主な変更点(旧バージョンとの比較)

児童生徒理解を促進するためのツールとして全道の学校で活用されてきた「ほっと」ですが、 この度、活用に当たっての要望等を各学校から集約した結果を踏まえ、「ほっと 2014」を作成 し配布することとなりました。

(1) データ入力の簡素化

【旧バージョン】では、児童生徒一人一人のシートが作成され、それぞれのシートで回答結果に該当するセルをクリックする方法がとられていました。【2014】では、1枚のシートに、回答結果の数値を入力する方法を採用しました。



(2) 因子得点の算出による散布図やレーダーチャート表示の追加

【2014】では、13 要素のうち相関の高い要素を因子としてまとめ、その結果を散布図(小 学校)やレーダーチャート(中学校、高等学校)で表示することにより、児童生徒や学級 等の特徴をより把握しやすくしました。分析の結果、小学校は2因子、中学校は3因子、 高等学校は4因子で構成されています。



《中学校》





(3) 集団における偏差値の分布状況表示の追加

学級や学年等の集団において、所属する児童生徒の合計点の偏差値の分布状況を棒グラ フで表示し、全体の傾向を把握しやすくしました。



(4) 児童生徒得点と教師評定の比較の追加

児童生徒による「振り返りシート」の回答結果と、教師によるそれぞれの児童生徒の状況を踏まえた「振り返りシート」の回答結果を比較できるようにし、児童生徒と教師の認識の違いを把握できるようにしました。



(5) 複数回実施した結果の比較の追加

≪13 要素の偏差値≫

複数回実施した結果を、同じ平面に表示できるようにすることで、学級状況の変容を把 握できるようにしました。



≪合計点の偏差値と人数の分布≫

第2章 「ほっと2014」の実施手順

1 「ほっと 2014」の起動

<u>1 該当ファイルのクリック</u>

「ほっと」のファイルは、学齢期に応じて、次の5つの種類が設定されています。児童生 徒の所属する学年に応じて、該当とする Excel ファイルをクリックして起動させてください。

- (1) 「ほっと 2014」(小学校低学年)
- (3) 「ほっと 2014」(小学校高学年)
- (5) 「ほっと 2014」(高等学校)
- (2)「ほっと 2014」(小学校中学年)(4)「ほっと 2014」(中学校)



<u>2 マクロの有効化</u>

「ほっと 2014」の Excel ファイルは、マクロが組まれていますので、「マクロを有効」にしてください。



2 「振り返りシート」の印刷及び実施

1 「振り返りシート」の印刷

「メニュー画面」の「回答用紙印刷」ボタンをクリックすると、「印刷」画面が表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。



次のようなシートが印刷されますので、児童生徒配付用として、必要な枚数を両面印刷 してください。

≪1ページ目≫

≪2ページ目≫

振り返りシート				
【局寺宇秋用】				
このシートは、みなさんが友だちと仲よくすごし、 ができるよう、コミュケーションに関する1300専 このシートに答えたことで、みなさんに送流がか るようなことはあいほせんので、安心して回答してく	、充実した 素について かったり、 ください。	学校生 こうかか 成績に	:活を達 iうもの 影響しi	ること です。 にしす
 裏面にある1~24の文を読んで、 今のあなだに「あてはまる」ときは4、 「ややあてはまる」ときは3、 「あまりあてはまうやはり」ときは2、 「あてはまらやはり」ときは1、このを? 第 (⑦)・2xx 】 さちかにのをつけてくだわい。 	DHTC <e< th=""><th>さい。</th><th>あまり</th><th>あてはまら</th></e<>	さい。	あまり	あてはまら
79	はまる	430	はまらない	ない
 ・ 朝 二 取 を 毎 日 貫 べ 々。 2 学校 に 行く こ と が 響しい。 		3	2	1

れては、次の質問に答えてください。	出席番号()	
[e:蜀 · 1:#] 256೫೦೦ಕರಿಗಳು(ನೆಕು,	ನಿಸ ಚಿತೆನಿ	ಳು ಕಿರ ಟೆಕೆಕಿ	ನಿ±೪ ನಿ⊤ ಟೆ±ತ್ರಿ	ನಿರ ಚಿತೆಸಿ ಮು
- 由会いの時代のあいさらなき分からである。	•	з	2	1
2 ಫ್ರೋನಮಣೆ ೩೩ ನಿರ್ದಾಶನ,	•	3	2	1
2 気好意見や少数意見であっても多分の先えな家うことができる。	4	3	2	1
・ 感謝や教えに応じて、尊分の意見を解手に掛えることができる。	٠	3	2	ı.
s ¢ ∯ ೋ೬#⊠ ಮಹಿ ಕಿರ್ದಿತಿಕ,	4	3	2	1
6 美麗の男類に向かって、みんたと読みすることができる。	4	3	2	ı
7 聞っている人のために聞いやりのある神奇をとることができる。	•	з	2	ı
◎ 神手の被共に回らなもっことができる。	4	3	2	ı
9 優たことなられたときた、中的るとうに言うことができる。	4	з	2	1
10 主権にどう思われるの不安で、本参な新デニよができない。	4	а	2	ı
繁華して人間で勝手にとができたいことがある。	4	а	2	1
2 篇にでも美観で聴かることができる。	•	3	2	ı
3 がんだっている主義を働きしたりに分たり子ることができる。	•	а	2	I
は 時間な中々に生活できる。	•	а	2	1
5 単校のルール中止員のモフルを中ることができる。	•	3	2	1
18 年えるれた仕事をしたい文庫に注意することができる。	4	а	2	ı
17 みんたわゆる気を変める差更をすることができる。	4	а	2	1
9 夏豚に肉かって、灌注して加みすることができる。	•	3	2	1
9 後なことなられても、感謝的になる子に冷静に発起することができる。	4	а	2	ı
20 読者や読えに応じた特徴をすることができる。	•	а	2	1
3 みんたの意見を含とめることができる。	4	3	2	1
2 整連でおからないところを完全や左右に聞くことができる。	4	з	2	1
2) 聞ったこと中間みな主権に打ち続けることができる。	4	а	2	1
■ 春日の睡時の肥実などな主査に勝かことができる。		3	2	1

2 児童生徒への「振り返りシート」の実施

児童生徒に「振り返りシート」を配付し、回答させてください。実施の手順の例を、次の とおりまとめましたので、参考にしてください。

	進行	児童生徒への説明	備考
1	用紙配付	 ・これから、皆さんのコミュニケーション能力に 関して、日常生活を振り返ってもらいます。 ・「振り返りシート」を配りますので、指示がある までそのまま待っていてください。 ・このシートは、皆さんが友だちと仲良く過ごし、 	 ・準備 振り返りシート 筆記用具 ・適宜 例に従って
		より充実した学校生活を送ることができるよう、コミュニケーションに関する13の要素について聞くものです。 ・このシートに答えたことで、皆さんに迷惑がかかったり、成績に影響したりするようなことはありませんので、安心して回答してください。 ・このシートには、24の文があります。 ※質問項目は各段階に応じて、次のとおり。 小学校低学年:15、小学校中学年:19 小学校高学年:20 中学校 :21 高等学校 :24 ・それぞれの文に対して、今のあなたに「あてはまる」ときは4の欄に、「ややあてはまる」ときは20 欄に、「あまりあてはまらない」ときは2 の欄に、「あまりあてはまらない」ときは2 の欄に、「あまりあてはまらない」ときは2	 ・児童生徒の実態に ・
2		・歴史の欄には「用・ケ」どたらかに「〇」を付	定する。
3	山山一田	 ・自分の出席番号を記入してください。 ・それでは、それぞれの文を読み、アンケートに 答えてください。 	
4	終了・回収	 ・終了時刻になりました。 ・回答に当たり、記入漏れがないか、もう一度確認してください。 	・確認後、用紙の回 収を行う。

3 児童生徒が回答した「振り返りシート」の結果の入力

<u>1 基本情報の入力</u>

「メニュー画面」シートをクリックし、「メニュー画面」を表示させます。

「クラス情報(年、組、人数)」「実施日」「回数」「回答者/評定者」を入力します。「回 答者/評定者」はプルダウンで、「生徒」「教師」のいずれかを選択します。(「振り返りシー ト」の回答者が児童生徒であれば「生徒」を、教師がそれぞれの児童生徒の状況を判断して 「振り返りシート」の回答をした場合は「教師」を選択することになります。)



基本情報の入力が終了した後、「新規データ入力」ボタンをクリックしてください。



2 「振り返りシート」の回答結果の入力

上記までの手順で、「新規データ入力」ボタンをクリックすると、「〇年〇組〇回目-〇〇 評定」というシートが自動的に作成されます(下図参照)。この作成されたシートに、性別 (男性の場合は「0」、女性の場合は「1」)及び質問項目に対する回答結果(数字「1」「2」 「3」「4」)を入力します。

また、他の Excel シート(「ほっと『改 2003』『2007』の集計表等」)に入力されている数 値を、「コピー&ペースト」により当該シートに貼り付けることもできます。貼り付ける際 は、「形式を選択して貼り付け」で「値」のみを貼り付けてください。



4 集計結果の表示

<u>1</u>回答結果の集計

「メニュー画面」シートをクリックし、「メニュー画面」を表示させます。「集計するシート」の下のセルをクリックすると、右側にプルダウン表示が現れますので、その表示をクリックします。集計するシート名が自動に出てきますので、該当する「シート名」をクリックしてください。

以上の作業が終了した後、「単純集計」ボタンをクリックし、集計結果を表示させます。



2 集計結果の表示

自動的に作成された集計結果のシート(「フィードバックシート」といいます。)には、次の3種類のグラフが表示されます。また、それぞれについて、男女別の表示もされます。

(1) 13 要素の偏差値

13 要素の各項目の全道平均をSS50とし、「学級平均」や「生徒得点」、「教師評定」の 偏差値が「折れ線グラフ」と「表」で表示されます。右図は男女別の表示の例です。また、 グラフの右側には、「振り返りシート」の質問項目ごとの「生徒得点」「教師評定」「学級 平均」の数値が「表」で表示されます。



(2) 因子得点

13 要素の相関の高い項目を因子としてまとめ、その因子得点がグラフで表示されます。 小学校は「主張性」「協調性」の2因子、中学校は「関係維持」「仲間強化」「自己統制」 の3因子、高等学校は「関係維持」「仲間強化」「自己統制」「援助要請」の4因子で構成 されています。因子の数により、小学校は「散布図」、中学校と高等学校は「レーダーチ ャート」が表示されます。グラフの右側には、因子得点の数値が「表」で表示されます。 《小学校》 《高等学校》

3因子得点 4因子得点 生徒得虑 教師評定 ----学級平均 ÷. ÷ 王張性 自己编制 自己認知 3因子得点 4因子得点 男性平均 女性平均 2因子得点平均储 仲間強化 関係維持 男女別散布図 ••• 100 自己統制 開保維 -----男性平均 --- 女性平均 自己統制

(3) 合計点の偏差値と人数の分布

学級等の集団における合計点の偏差値の分布が棒グラフで表示されます。右図は男女別 の表示の例です。また、棒グラフの右側には、分布の人数が「表」で表示されます。その 「表」の人数の上にカーソルを置くと、該当する児童生徒の「出席番号/ID」が表示さ れます



また、「ID」のセルに、児童生徒の「出席番号/ID」を入力すると、当該児童生徒の グラフが表示されます。

🕼 🖯 ちょくょ 🛱 🗧	(3	にっと20:	14高等学校	- Excel	
ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示					
R1C13 🔻 : 🗙 🖌 🏂 生徒評定					
1 2 3 4 5 6 7 8	10	11	12	13	14
1 1年1年1日1日日日 生徒証字 フィードバック	ID		5	生徒	評定
2 1年1祖1月1日1回日-王従計定-フィートパック	13	質問	生徒	教師	学級
3	要素	番号	得点	評定	平均
4	刘 佳	1	2		2.6
5 13要素偏差値	TUR	2	3		2.9
6	主用	3	3		2.4



≪当該児童生徒のデータが反映された13要素の偏差値≫



≪当該児童生徒のデータが反映された因子得点≫



3 生徒得点と教師評定の比較

「ほっと 2014」では、「生徒得点」と「教師評定」を同一平面上に表示することができま す。この機能により、児童生徒のコミュニケーションスキルについて、児童生徒本人の考え と教師の考えの違いが一目で分かり、今後の指導の改善に役立てることができます。



5 複数回実施した場合の集計結果の比較の表示

<u>1 複数回実施の集計</u>

「ほっと 2014」では、「1回目」と「2回目」の集計結果や、「生徒得点」と「教師評定」 の集計結果を、同一平面上で比較することで、時間的経過の中での変容や児童生徒と教師の 認識の違いなどを把握することができます。最大3種類のデータを比較することができます。 比較するためには、元となるデータが必要ですので、第2章3~4の手順でデータの集計



2 複数回実施の結果表示

「メニュー画面」シートをクリックし、「メニュー画面」を表示させます。「比較するシート」の下のセルをクリックすると、右側にプルダウン表示が現れますので、その表示をクリックします。比較できるシート名が自動的に出てきますので、比較したい「シート名」をクリックしてください。続けて下のセルをクリックし、同様に比較したい「シート名」をクリックしてください。最後に「学級」の情報と「集計回数」を入力し、「経時比較」ボタンを クリックします。





「経時比較」ボタンをクリックすると、自動的に、比較されたフィードバックシートが 作成され表示されます。次の3種類のグラフが表示されます。



また、フィードバックシートの2ページ目には、児童生徒一人一人の比較されたグラフ を表示させることができます。「生徒の変化」の「ID」に、児童生徒の「出席番号/ID」 を入力すると、当該児童生徒の「13要素の偏差値」と「因子得点」が表示されます。



6 その他の機能

「ほっと 2014」では、回答結果を入力するシートに、児童生徒の「13 要素の偏差値」や 「因子得点」が一覧で表示されます。

X	5	ð	- Q	4	;													(#:	っと20	14高篇	等学校	交 - E	xcel																?	Ŧ	- 6
ファイル	木-	- /-	插入	~-	シレイア	71-	数式		データ	,	校朋		表示																												
		~					2010-0				000		244.2																												
-		.			C																																				
RIUU	13	* :	×	~	Jx	3																																			
1	2	3	4 5	6	7 8	9	10	11	12	13	14 1	5 1	6 1	7 18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
1				-						-		-	思	# 15	125	ス協新	1	1年	1	ŝR					-				-			-									
2													女	生 21	2	施回数	1		人数	40																					
3		_	性別は、	男性はC)、 <u>女性は1</u>	を入力し	<u>, てくた</u> る	乱い	_	_						評定	ð 👘		生徒	<u> </u>				-		-	-		-		-			-							
4 - Tw	<u>生徒情報</u> #辛巳 /iD	144 Dil	夏回19日	1-2	ad 15	-6		-0 -		10 41	1	0 1=1	2 41	1E	1.10	-17	a10	a1.0	-00	1=01	-00	-02	-24	A-14	11.6	* + 08	ætan.	62.6	14525	13	要案組	定値	曲件	64	ter at		+DEA		4181千	<u>위하</u>	ld os er et
-	500 S/ 10	1 1	Q1 Q2	2 0	Q4 Q0	2 2	2	10 14	2 4	2	2	4	1	0 1	1910	0 1	1410	1910	920	(<u>q</u> a)	922	925	924	58.0	534	4 20093	35.0	41 F	381	51.3	409	283	49.4	49.4	47.0	49.6	49.0	57.1	49.9	333	55.6
7		2 0	2	2 3	2	2 3	2	4	1	3	4	2	2	2 1	1	4	2	3 3			3	2	3	61.0	29.4	46.4	42.3	49.3	25.8	64.4	33.3	28.3	56.8	53.4	59.1	49.5	42.5	47.5	47.5	46.7	55.6
8		3 0	2	3 2	2	3 2	2	3	2	1	4	2	1	2 3	2	2 1		4 3	1 3	1 3	3	3	3	57.0	37.4	39.7	42.3	41.5	38.1	51.3	25.6	35.5	35.3	53.4	591	49.6	49.2	38.1	38.1	53.3	66.7
		4 0	1	2 1	2	2 2	1	4	2	2	2	3	3	3 5	2	3	4 :	2 1	1 2	: 3	4	2	3	56.0	21.4	33.1	35.0	41.5	38.1	447	48.5	42.7	64.0	31.3	59.1	61.7	42.6	42.9	52.4	33.3	55.6
0		5 0	2	3 3	3	3 3	2	3	4	3	4	2	3	4 5	2	3 5	2 1	1 5	4	1 2	1	2	2	63.0	37.4	53.0	49.6	41.5	62.8	64.4	40.9	49.9	49.6	42.4	47.0	25.5	36.0	52.4	57.1	53.3	33.3
1		<u>6</u> 0	1	2 1	2	3 3	3	2	3	1	3	3	2	3 3	8	2	3 1	2 3		2	2	2	2	55.0	21.4	33.1	49.6	41.5	50.5	44.7	40.9	49.9	49.5	42.4	47.0	37.5	36.0	42.9	42.9	53.3	33.3
2		/ 1	4	4 4	4	4 4	4	4	4	-1	2	3	3	3 3	-	3 3	3 3	3 3		2	2	2	- 3	F2.0	01.4	46.4	49.2	22.7	201	38.1	98.0	49.9	00.8	42.4	4/ U 71.2	51.0	30.U 60.E	30.5	81.U 61.9	53.3	1000
; -		9 1	4	2 3	2	3 2	2	- 2	2	2	2	2	2			3 3				1 7		- 4		51.0	61.4	26.5	97.7	33.7	381	57.8	33.3	35.5	49.4	36.9	47.0	37.6	36.0	59.4	19.0	33.3	33.3
		10 1	4	4 1	1	1 1	1	1	1	4	3	2	2	2 5		2 :		2 2		2	2	2		48.0	61.4	26.5	20.4	18.0	25.8	64.4	33.3	35.5	42.4	36.9	47.0	37.6	36.0	38.1	14.3	33.3	33.3
6		11 1	3	3 3	3	3 3	3	3	3	2	2	3	3	3 3		3 :	3 :	3 4	1 4	4 4	4	4	4	76.0	45.4	53.0	49.6	49.3	505	44.7	48.5	49.9	56.8	64.5	71.3	61.7	62.5	66.7	71.4	80.0	100.0
7		12 0	2	2 2	2	2 2	2	2	2	3	3	2	3	3 3	3	3 :	3 :	3 3	1 3	1 3	3	3	3	62.0	29.4	39.7	35.0	33.7	38.1	57.8	40.9	49.9	56.8	53.4	591	49.6	49.2	38.1	47.6	66.7	66.7
8		13 0	4	4 4	4	4 4	4	4	4	1	1	2	2	2 2	2	2	2 :	2 2	1 2	: 2	3	3	3	67.0	61.4	66.2	64.2	64.9	62.8	31.5	33.3	35.5	42.4	36.9	47.0	49.6	49.2	81.0	76.2	33.3	55.6
9		14 0	3	3 3	3	3 3	3	3	3	2	2	3	3	3 3	2	4	4 •	4 4	4	4	4	4	- 3	78.0	45.4	53.0	49.6	49.3	50.5	44.7	48.5	49.9	71.2	70.0	71.3	61.7	55.8	66.7	81.0	86.7	88.9
0		15 C	1	2 2	2	2 4	4	4	4	1	1	3	3	3 3	8	3 3	3 3	3 5		2	2	2	2	60.0	21.4	39.7	49.6	64.9	62.8	31.5	48.5	49.9	56.8	42.4	47.0	37.6	36.0	66.7	52.4	53.3	33.3
1		16 0	1	2 1	2	3 3	3	2	3	-1-	3	3	2	3 3	1	2 :	2	2 3		2	2	2	2	55.U 70.0	21.5	533.1	49.0	41.5	50.5	94.7	40.9	49.9	49.0	42.4	47.0	37.0	30.0	42.9	42.9	53.3	33.3
2		12 1	1	9 9		2 0		- *		2	2	-	3	2 2		2 .	2 .	1 0			2	2		640	21 4	464	49.2	33.7	381	57.8	33.3	40.0	56.8	42.9	71.3	61 7	62.5	28.6	61.9	533	1000
		19 1	4	4 1	1	1 2	2	2	2	3	3	2	2	2 3	5	2 .		2 2			2	2		51.0	61.4	26.5	27.7	33.7	381	57.8	33.3	35.5	42.4	36.9	47.0	37.5	36.0	52.4	19.0	33.3	33.3
5		20 1	4	4 1	1	1 1	1	1	1	4	3	2	2	2 3	2	2 :	2 :	2 3		2 2	2	2	2	48.0	61.4	26.5	20.4	18.0	25.8	64.4	33.3	35.5	42.4	36.9	47.0	37.6	36.0	38.1	14.3	33.3	33.3
6		21 1	3	3 3	3	3 3	3	3	3	2	2	3	3	3 3	8	3	3 :	3 4	4	i 4	4	4	- 4	76.0	45.4	53.0	49.6	49.3	50.5	447	48.5	49.9	56.8	64.5	71.3	61.7	62.5	66.7	71.4	80.0	100.0
7		22 1	2	2 2	2	2 2	2	2	2	3	3	2	3	3 3	-	3 :	3 :	3 3	4	1 3	3	3	3	62.0	29.4	39.7	35.0	33.7	38.1	57.8	40.9	49.9	56.8	53.4	591	49.6	49.2	38.1	47.6	66.7	66.7
8		23 1	4	4 4	4	4 4	4	4	4	1	1	2	2	2 1	2	2 :	2 :	2 2	4	2	3	3	3	67.0	61.4	66.2	64.2	64.9	62.8	31.5	33.3	35.5	42.4	36.9	47.0	49.5	49.2	81.0	76.2	33.3	55.6
2		24 1	3	3 3	3	3 3	3	3	3	-2	2	3	3	3 3	-	4 .	1	4 4	1	44	4	4	- 3	/8.0	45.4	29.7	49.5 49.6	493	60.0	947	98.5	49.9	11.2	1/00	47.0	27.6	26.0	71.4	81.0	80.7	88.9
		20 0		2 2	2	2 4	4	4	- 4	+	2	7	*			0 0				1 2	2	2		55.0	21.5	33.1	49.6	41.5	505	447	40.9	49.9	49.6	42.4	47.0	37.6	36.0	42.9	42.9	53.3	33.3
		20 0	4	4 4	á	a a	4	4	4	1	2	3	2	2 0	2	2 .	2 .	2 0		1 2	2	2		72.0	61 4	66.2	642	64.9	62.8	381	48.5	49.9	56.8	42.4	47.0	37.6	36.0	905	81.0	53.3	33.3
3		28 0	1	2 3	2	3 2	2	2	2	3	3	2	2	3 3		3 3	3	1 5		4 4	4	4	4	64.0	21.4	46.4	42.3	33.7	38.1	57.8	33.3	49.9	56.8	42.4	71.3	61.7	62.5	28.6	61.9	53.3	100.0
4		29 0	4	4 1	1	1 2	2	2	2	3	3	2	2	2 5	2	2	2 :	2 3	1	2	2	2	2	51 .D	61.4	26.5	27.7	33.7	38.1	57.8	33.3	35.5	42.4	35.9	47.0	37.6	36.0	52.4	19.0	33.3	33.3
5		30 0	4	4 1	1	1 1	1	1	1	4	3	2	2	2 5	2	2	2 :	2 2		(2	2	2	2	48.0	61.4	26.5	20.4	18.0	25.8	64.4	33.3	35.5	42.4	36.9	47.0	37.6	36.0	38.1	143	33.3	33.3
6		31 1	4	3 2	3	2 2	3	2	2	2	3	4	1	2 1	-	2 :	2 :	2 1		4 2	3	3	3	58.0	53.4	46.4	35.0	41.5	38.1	51.3	40.9	28.3	42.4	42.4	47.0	49.6	49.2	57.1	42.9	33.3	55.6
7		32 1	2	2 3	2	2 3	2	4	1	3	4	2	2	2 1	-	4 :	2 .	3 3	1	1 3	3	2	1 3	61.0	29.4	46.4	42.3	49.3	25.8	164.4	33.3	28.3	05.8	53.4	591	49.6	42.5	4/.5	4/.5	46.7	66.6
58		24 0	2	3 2	2	3 2	2	3	2	- 1	4	2	-	2 3	-	2			4	+ 3	3	3		57.0	91.4	1 221	92.0	41.5	201	447	49.5	49.7	54.0	21.2	591	61.7	49.6	30.1	59.4	222	55.6
40		35 1		3 3	3	3 3	2	- 4	4	3	4	2	3	4 0		3		1 3		1 2	1	2		63.0	37.4	53.0	49.6	41.5	62.8	644	40.9	49.9	49.6	42.4	47.0	25.5	36.0	52.4	57.1	53.3	33.3
41		36 1	1	2 1	2	3 3	3	2	3	1	3	3	2	3 3		2		2 3		2 2	2	2		55.0	21.4	33.1	49.5	41.5	505	44.7	40.9	49.9	49.5	42.4	47.0	37.5	36.0	42.9	42.9	53.3	33.3
12	-	37 1	4	4 4	4	4 4	4	4	4	1	2	3	3	3 3		3	3	3 3		2 2	2	2		72.0	61.4	66.2	64.2	64.9	62.8	38.1	48.5	49.9	56.8	42.4	47.0	37.6	36.0	90.5	81.0	53.3	33.3
				-		-								-		-			_	1	1							00.7	004	57.0	00.0	40.0	500	40.4	74.0	100.7	FOF				1